

平成30年「安全・安心・高品質」

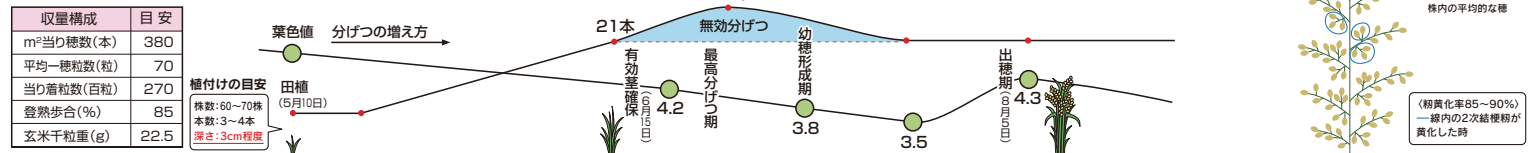
美味しい山田米 栽培こよみ

今年度の重点目標 1. 土づくり 2. 出穂後20日間の湛水管理 3. 生産履歴記帳・GAPの実践

山田村農業協同組合
富山農林振興センター
山田地域農業技術者協議会

コシヒカリの生育ステージ

田植えは急がず10日頃を中心に!



刈取判定の目安
穂の熟色で刈取適期を判定
穂内の平均的な穂

(精白化率85~90%)
一線内の2次穂稈が
黄化した時

生育期	生育期	活着期	有効分け時期	無効分け時期	幼穂形成期	穂ばらみ期	登熟期	収穫期
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月		

管理のポイント

- 秋起こし
- 土づくり資材 堆肥の施用
- 適正な乾燥調整の実施
- 適期刈取の実施
- 刈取の5~7日前まで
間断かん水を実施する。
- 刈取時期に合わせて落水
- 落水は急がない

● 田植え(10日頃を中心に)
● 育苗カビの予防
● 除草剤は遅れず散布
● やや深水で保温し、活潑を早める
● 活着後は3cm程度の浅水
● 田中し後は間断かん水を実施する
● 田中しを開始する
● 中干し後は間断かん水を実施する
● 幼穂長の確認
● 畦畔・農道等の草刈りの徹底
● 一回目の穂肥は幼穂長、葉色を見て慎重に
● 基本防除一回目
● 基本防除二回目
● 一回目は適期後にしっかりと

基本防除

一回目	二回目
出穂始期 いもち病・紋枯病・ウンカ類・カメムシ類 ビームバシボン粉剤5DL 10a当たり4kg散布	穂揃期 いもち病・ウンカ類・カメムシ類 ラブサイドキップ粉剤DL 10a当たり4kg散布

水稻雑草除草体系

田植日 → 田植後 (+3, +5, +7, +12, +15, +20, +30)

圃場タイプ	田植時	田植後
一般圃場	田植え同時処理の場合 ウィナー1キロ粒剤5L	雑草が多く残った場合 ヒエ グリフA1粒剤 1~1.5kg 広葉雑草・稗イ ハ'カラ粒剤 3kg(落水散布)
雑草の残る圃場	マシエト1粒剤 農将軍70アール	シカスター1粒剤 パワーウルフ1粒剤5L
特に後半雑草の残る圃場	マシエト1粒剤 農将軍70アール	アクシスMX1キロ粒剤 1kg マメットSM1キロ粒剤

美味しい米・安定収量のための「土づくり」

けい酸質資材や堆肥を施用して、高品質で環境にやさしい米づくりを!

「土づくり」のポイント

けい酸質資材と有機物の継続施用!

JA山田村推奨資材

けい酸質資材		発酵鶏糞
シリカロマン 5袋/10a	米取けいさん鉄 5袋/10a	5袋/10a
ケイ酸 25% 炭 5%	ケイ酸 24% 炭 8%	窒素 2.5%
アルカリ分 45%	アルカリ分 36%	リン酸 6%
リン酸 5%	リン酸 2%	加里 3%
クド 7%	クド 3%	有機質 100%

土壌に応じた適正な施肥

<コシヒカリの肥料設計>

施肥形態	肥料名	基肥	早期追肥	穂肥①	穂肥②
全層施肥	BB側条基肥206号	30~35kg	7kg	NKグリーン30	NKグリーン30
側条施肥		25~30kg	-	10kg	12kg
基肥一発施肥	LPssコシヒカリ2号	27~32kg	-	-	-

※一発肥料の施用量は安易に増やさず、葉色を見て追加穂肥に対応する。

JA山田村推奨肥料

肥料	肥料名	成分%			特徴
		窒素	リン酸	加里	
基肥	BB側条基肥206号	12	20	16	すべての成分をバランスよく配合。
一発	LPssコシヒカリ2号	21	14	14	一発肥料。穂肥成分が含まれた省力肥料。
追肥	NKグリーン30	16	0	14	リン酸・加里成分を抑えた、低コスト肥料。

「高品質で売れる米づくり」を目指してがんばりましょう!

1. 土づくりの実施
2. 適正な田植作業と水管理の徹底
3. 中干しの確実な実施
4. 生育・気象状況に応じた穂肥施用
5. 病害虫防除の徹底
6. 登熟期間の適切な水管理
7. 適期刈取りの励行
8. 適切な乾燥調整

栽培メモ	区分	資材・肥料名	月日	施肥量	本田管理			区分	時期	農薬名	月日	散布量
					耕起	代かき	田植え					
施用	土づくり	基肥	月日	kg/10a	中干し	落水	刈取り	病害虫防除	本田		月日	cc/箱
		追肥	月日	kg/10a						月日	g/箱	
		穂肥①	月日	kg/10a	除草	農薬名	月日			散布量	月日	kg/10a
		穂肥②	月日	kg/10a			月日			kg/10a	月日	kg/10a